

改革戦略のつくり方序論①②

■講師



福島 一政

(追手門学院大学 副学長/福井大学 監事/愛媛大学客員教授)

立命館大学経済学部卒。1972 年度から 2008 年度末まで、日本福祉大学で大学職員として勤務。その間、庶務・経理・学生・施設・総務・研究情報・教学事務・財務などの業務を経験し、事務局長・執行役員・常務理事・学長補佐などを務め、教育を含む大学改革などに取り組む。2005 年から 2 年間、大学行政管理学会会長。2009 年度から 4 年間、学校法人東邦学園理事。2010 年度から 2 年間、国立大学法人愛媛大学監事。

■プログラム概要

「課題あって戦略無し」。皆さんの大学ではこのような状態になっていませんか？学内の課題は山積しているでしょう。加えて、文科省などからも大学改革の新しい課題を数多く突きつけられています。これらの課題を解決しようとしても、あまりに数多く、多岐多様過ぎて、どこから手をつけていいか悩むこともしばしばだと思います。たとえいくつかの課題を解決しても、新しい課題が次々と出てきます。そのうちに、一体何のために課題を解決しているのかわからなくなりますか？課題解決の目的を見失わず、「選択と集中」ができる戦略プランを作成することができれば、いくら忙しい中でも力強い改革の推進に大いに役立つでしょう。本プログラムでは、SWOT 分析の方法、大学や各部署のミッション・ビジョンの設定から改革戦略実現マップの作成手法まで、具体的な事例で講義と演習をします。このプログラムは本来、30時間程度を要しますが今回は要約版とします。

■主な受講対象

職員(個別の政策立案はできるが、大学改革、教育改革、組織改革など改革戦略の立て方がよくわからない、という中堅職員)

■本プログラムの到達目標

- 1.戦略と課題の関係を目的と手段の関係と認識することができる。
- 2.自大学の強みや弱みなどの分析ができる。
- 3.改革戦略実現マップを作成することができる。

■日時・会場・受講定員

日 時 : 平成25年8月20日(火)13:00～17:30

会 場 : 愛媛大学 城北キャンパス 愛大ミューズ 2階 M23教室

定 員 : 20名